

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

一宮町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県長生郡一宮町

3 地域再生計画の区域

千葉県長生郡一宮町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の国勢調査人口は 1970 年以降増加が続き 2010 年には 12,034 人となりました。2015 年には 11,767 人と微減となったものの、2020 年には 11,897 人と増加に転じていますが、自然減少の拡大等を背景に本町の人口は減少が継続する見通しとなっており、国立社会保障・人口問題研究所によると 2030 年には 11,376 人となり、2065 年には 9,672 人と 1 万人を割り込む見通しとなっています。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、生産年齢人口（15～64 歳）は、1990 年に 7,313 人となって以降減少が続いており、2020 年は 6,378 人となっています。年少人口（0～14 歳）については、2005 年以降、微増傾向にありましたが 2020 年では再び減少し、1,443 人となっています。一方、老年人口（65 歳以上人口）は一貫して増加しており、2020 年は 3,890 人となっています。人口規模は維持されていますが、高齢化が進行しています。

本町の自然動態をみると、一貫して、死亡数が出生数を上回る自然減少の状態が継続しており、2020 年は▲137 人の自然減となっています。なお、本町の合計特殊出生率は直近 5 年平均では 1.41 と、千葉県（1.34）を上回り、全国（1.42）と同水準となっています。

社会動態をみると、年によっては社会減の時期があるものの、基本的には転入数が転出数を上回る社会増の状態が続いており、2020 年は 151 人の社会増となっています。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、労働力不足や後継者不足、地域活動の担い手不足、都市インフラの維持など、住民生活への様々な影響が懸念されています。また、行政サービスに対する町民ニーズの多様化、情報通信や AI 等のデジタル技術の進化、経済環境の移り変わりに伴う産業構造の変化、持続可能な開発目標（SDGs）へ取り組む必要性など、本町を取り巻く環境の変化に対して適切に対応するため、次の事項を本計画における基本目標として掲げ目標の達成を図ります。

基本目標 1 オリンピックレガシーとしてのサーフォノミクスの拡大

基本目標 2 パワースポット一宮の力の源としての農業と各種産業の拡大

基本目標 3 暮らしの充実度を上げるための子育て・教育・文化の増進

基本目標 4 暮らしの安全安心を確保するための防災・福祉・医療の増進

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	上総一宮観光案内所利用者数	7,310人	10,000人	基本目標 1
	釣ヶ崎観光案内所利用者数	0人	4,000人	
	防災拠点機能を備えたまちづくり拠点プロジェクト検討数	0件	1件	
	企業版ふるさと納税寄付額	0円	30,000千円	
	空き家登録件数	0件	2件（2ヶ年合計）	
	世界サーフィン保護区認定取得数	0件	1件	

イ	農業経営体数	258客体	260客体	基本目標 2
	住みやすいと思う町民の割合	67.7%	73%	
	景観計画の策定数	0 件	1 件	
	生物多様性戦略の策定数	0 件	1 件	
ウ	町HP閲覧数	16万件／年	17万件／年	基本目標 3
	児童生徒の学校生活に対する満足度	0 %	90%	
	給食施設の整備方針の決定数	0 件	1 件	
	文化財講座・歴史講座参加者数	130人	150人	
エ	「医療体制」に満足している町民の割合	6.6%	10.0%	基本目標 4
	原地区農業集落排水施設改修率	0 %	100%	
	中央ポンプ場老朽化率	68%	40%	
	自主防災組織設置数	10団体	36団体	
	デジタル用戸別受信機整備数	50台	800台	
	6 5 歳平均自立期間の延伸	男性：17.45 年 女性：20.64 年	男性：18.0年 女性：22.0年	
	健康ポイント事業への登録者数	0 人	300人	
	公共交通の新たな展開の検討数	0 件	1 件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

一宮町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア オリンピックレガシーとしてのサーフォノミクスの拡大事業

イ パワースポット一宮の力の源としての農業と各種産業の拡大事業

ウ 暮らしの充実度を上げるための子育て・教育・文化の増進事業

エ 暮らしの安全安心を確保するための防災・福祉・医療の増進事業

② 事業の内容

ア オリンピックレガシーとしてのサーフォノミクスの拡大事業

サーフォノミクスの更なる深化を通じ、サーフィンを一時来訪者増加のきっかけとし、ヒトやモノの流れを変えることでサーフストリート周辺だけでなく経済効果を町内全体へ波及させます。また、サーフィンをする住民のみならず、サーフィンをしない住民の生活にも資する取組を行います。

【具体的な事業】

- ・サーフィンを軸とした新たな人の流れをつくる
- ・防災拠点機能を備えたまちづくり拠点事業 等

イ パワースポット一宮の力の源としての農業と各種産業の拡大事業

人口減少の抑制のため働く場の確保が求められています。農業、商工業、飲食業など本町の特徴的な産業にかかる中小事業者の支援および外国人や女性、非正規雇用者、高齢者など様々な立場の人々が活躍できる場の創出を通じて、強い産業の実現とあらゆる人々が活躍できる環境づくりを行います。

【具体的な事業】

- ・農林業の振興事業
- ・魅力あるまちづくりを目指した統一景観形成事業 等

ウ 暮らしの充実度を上げるための子育て・教育・文化の増進事業

本町ならではのライフスタイル（自然豊かでありながら、都心等への通勤・通学利便性を有する）の維持や子育て、教育環境の充実化を通じて、ファミリー世帯の移住を促進するとともに一時来訪者を定住に結びつけます。また、就学等で一度本町を出ても「また戻ってきたい」と思えるまちづくりに取り組みます。

【具体的な事業】

- ・子育て支援拠点及び教育施設の環境改善事業
- ・アフターコロナ後の新たな働き方の促進事業 等

エ 暮らしの安全安心を確保するための防災・福祉・医療の増進事業

地域医療体制の整備や万全な感染症対策、また、激甚化する自然災害への対策などを通じて、町民の安全安心な暮らしを確保します。

【具体的な事業】

- ・広域医療体制の充実事業
- ・避難所の整備事業 等

※なお、詳細は一宮町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

30,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。効果検証後速やかに一宮町の公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2022年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで